

二級河川犀川 河川改修工事(河口～犀川橋) 多自然川づくりの取組み



犀川と浅野川の一体的治水対策

○犀川下流工区
暫定河道掘削完了(H25. 5月)
今後もネック箇所の改修が不可欠
→ 築堤・掘削工・護岸工の整備



○浅野川
事業完了(H26. 9月)



○犀川上流工区
事業完了(H28. 3月)



○浅野川放水路
放流量制限解除(H25. 5月)
(150m³/s→250m³/s)



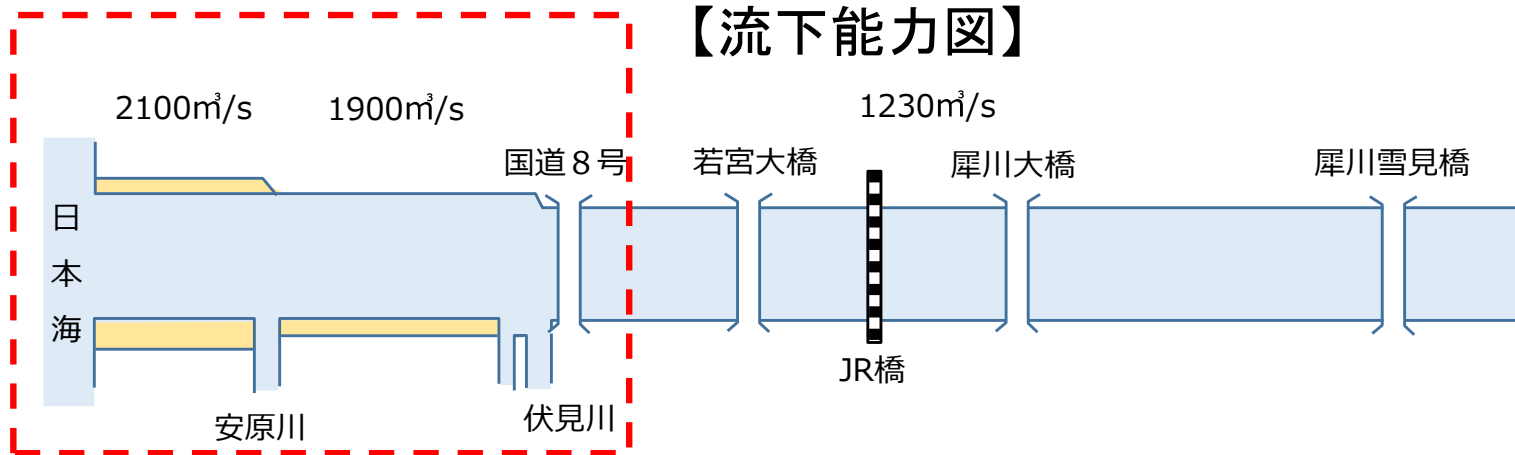
○辰巳ダム
運用開始(H24. 6月)

・犀川ダム S41. 3月完成
・内川ダム S50. 3月完成



二級河川犀川 広域河川改修工事

【流下能力図】



凡 例	
Black	R 2年度まで
Red	R 3年度実施
Green	R 4年度以降

河口～犀川橋周辺における環境・景観への配慮



普正寺の森(採餌の場)



- 夏頃に幼生を川に放出



- 野鳥の餌として重要な存在

普正寺の森周辺の整備方針

チュウヒやオオタカなどの希少猛禽類を含む鳥類が多く飛来
→普正寺の森の南方向で営巣している可能性



ササゴイの池周辺

ササゴイの池



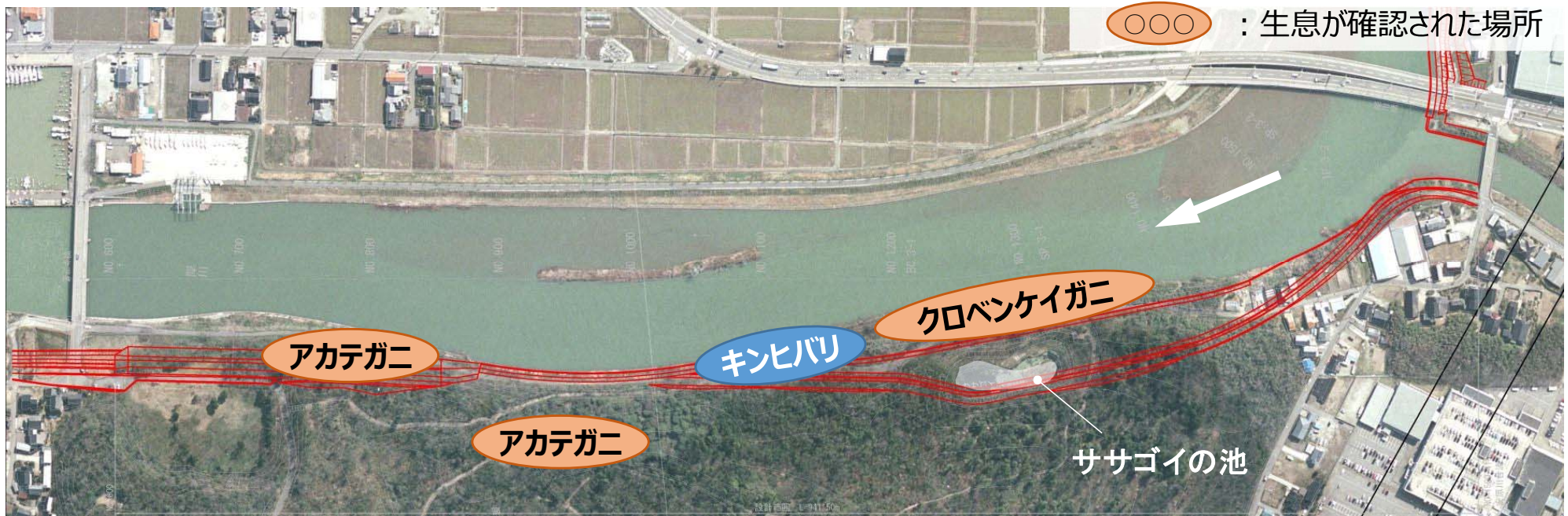
野鳥観測舎



- 一年を通じてバードウォッチングが楽しめる野鳥の宝庫
- これまで記録された野鳥は235種
- 日本野鳥の会石川支部による月例探鳥会も開催

(県生活環境部HPより抜粋)

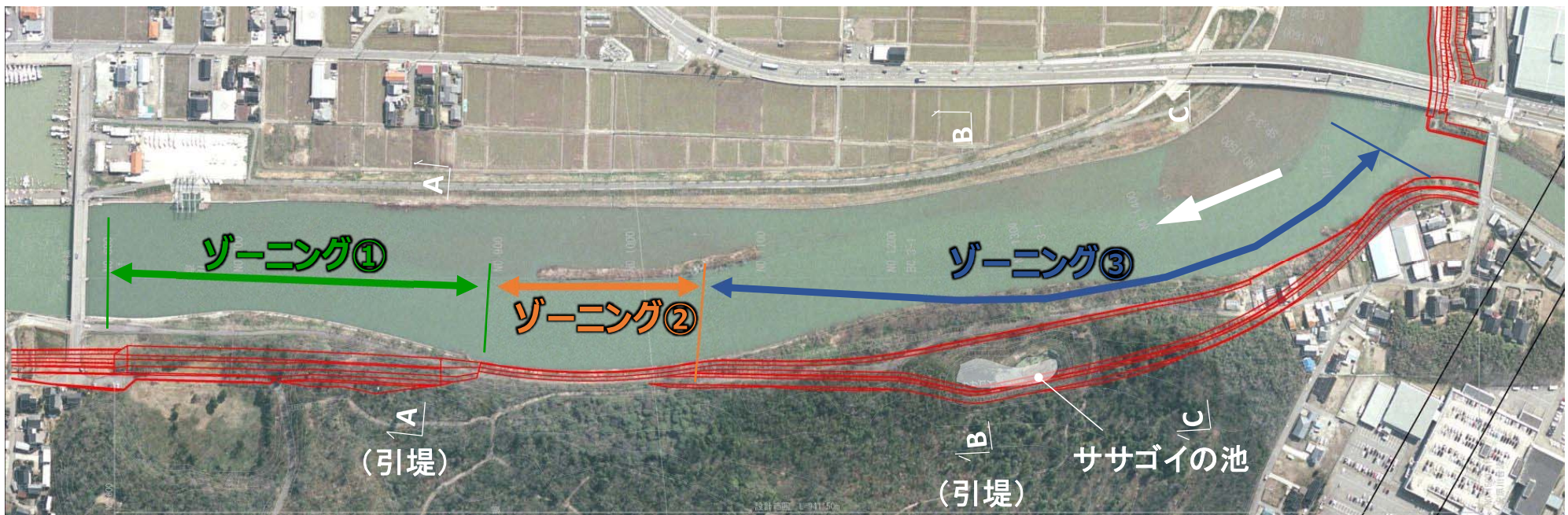
普正寺の森周辺の整備方針



■ 環境調査により確認した重要な種

項目	確認した重要な種
植物	ハマナス、ユキヤナギ、ナワシログミ、ヤブミョウガ
鳥類・コウモリ類	ミサゴ、チュウビ、ハイタカ、オオタカ、ノスリ、ハヤブサ、ヒナコウモリ →営巣は確認できず、周辺から餌を採りに飛来と推測
昆虫类等	キンヒバリ（今回の調査により、県内初観測） ヤマトマダラバッタ、ゴヘイニクバエ など 1 2 種
陸カニ	アカテガニ、クロベンケイガニ（都市近郊で多く生息している事例は少ない、野鳥の餌）

普正寺の森周辺の整備方針



ゾーニング① 鳥類への配慮区間

- 河川改修に伴い、大規模な切り土が必要
- 対策の中で植生の自生を促す区間を設け、鳥類への環境保全を配慮

ゾーニング② 遷移区間

- 地形の改変が少ない区間
- 上下流の工事中に鳥類やカニ等の生物の一時避難場所

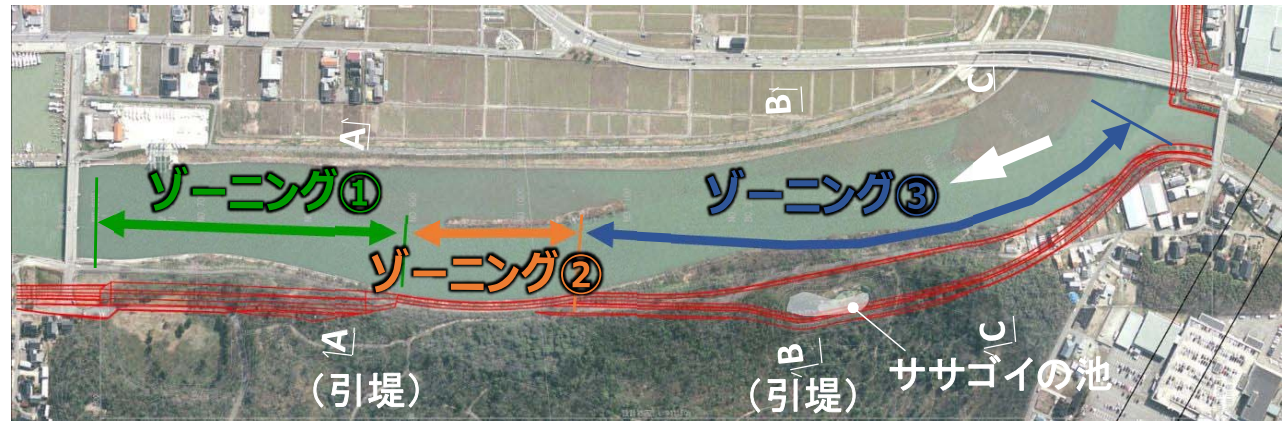
ゾーニング③ 生物多様性の保全区間

- ササゴイの池を再建するとともに、高水敷にワンドを整備
- 改変前の環境を再生することにより生物多様性を保全する区間

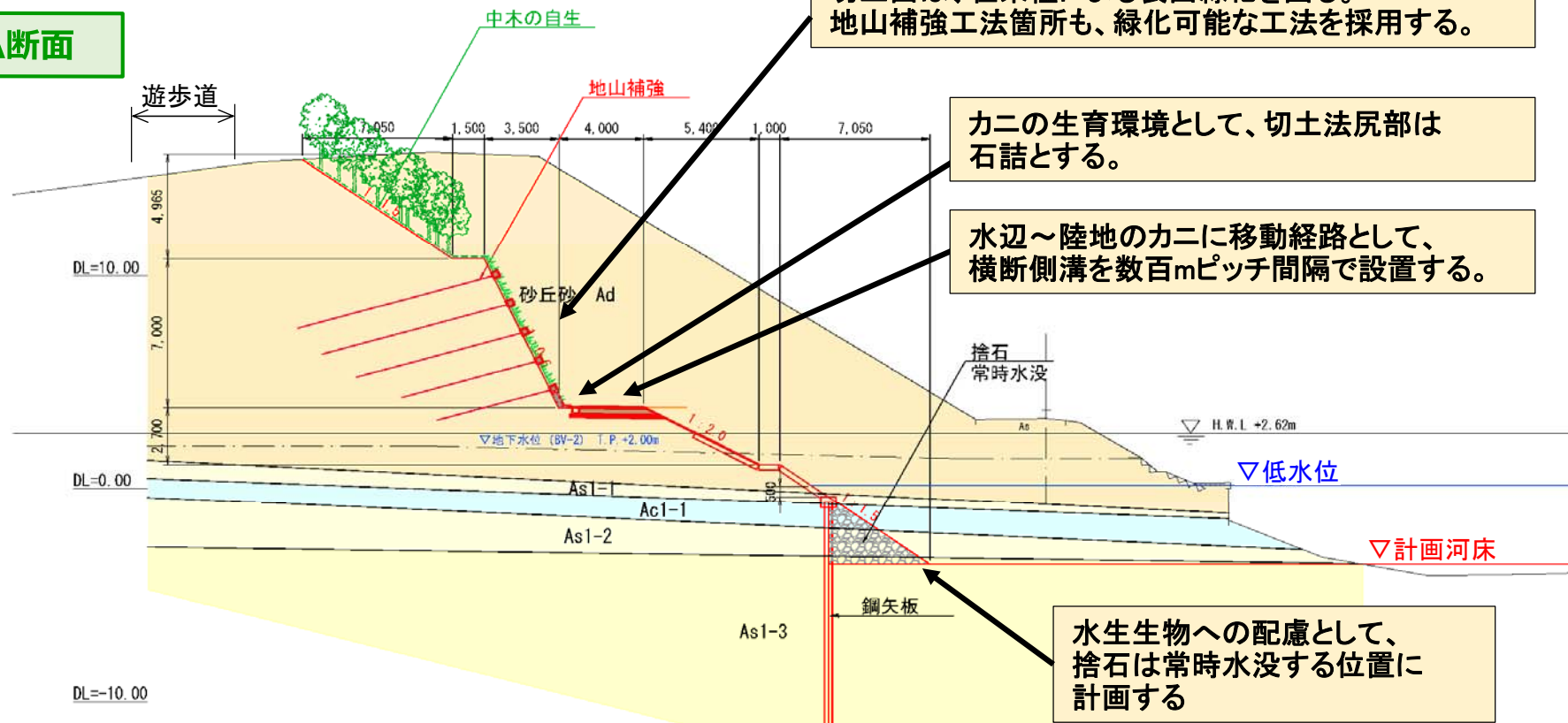
ゾーニング① 鳥類への配慮区間

<概要>

- 河川改修に伴い、大規模な切り土が必要
- 対策の中で植生の自生を促す区間を設け、鳥類への環境保全を配慮



A-A断面



切土面は、在来種による表面緑化を図る。
地山補強工法箇所も、緑化可能な工法を採用する。

カニの生育環境として、切土法尻部は石詰とする。

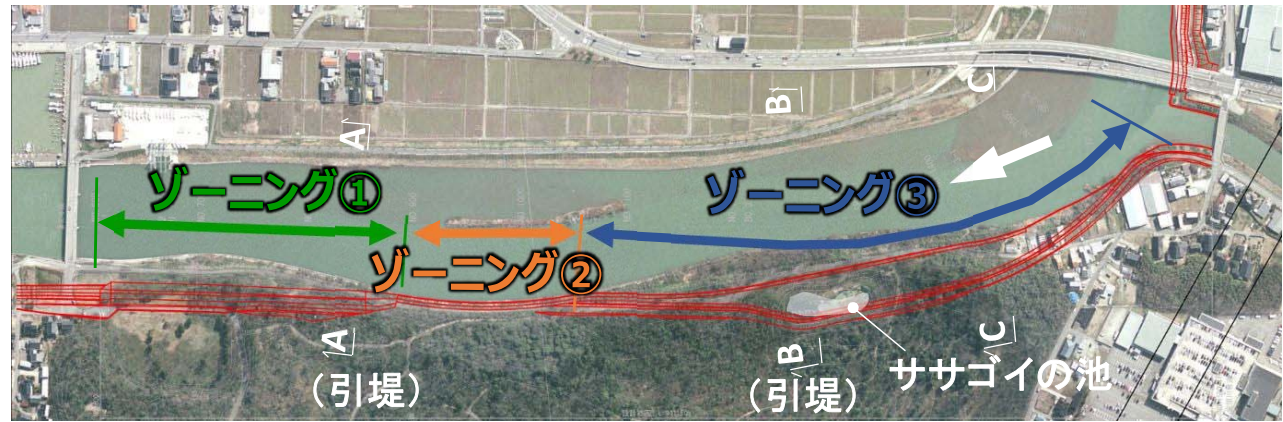
水辺～陸地のカニに移動経路として、横断側溝を数百mピッチ間隔で設置する。

水生生物への配慮として、捨石は常時水没する位置に計画する

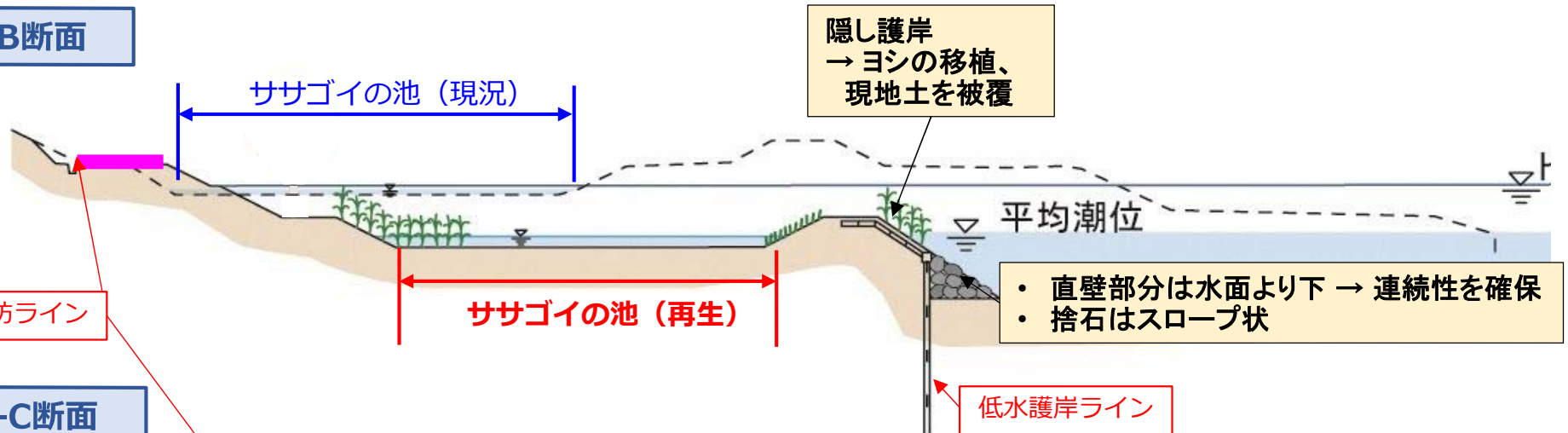
ゾーニング③ 生物多様性の保全区間

<概要>

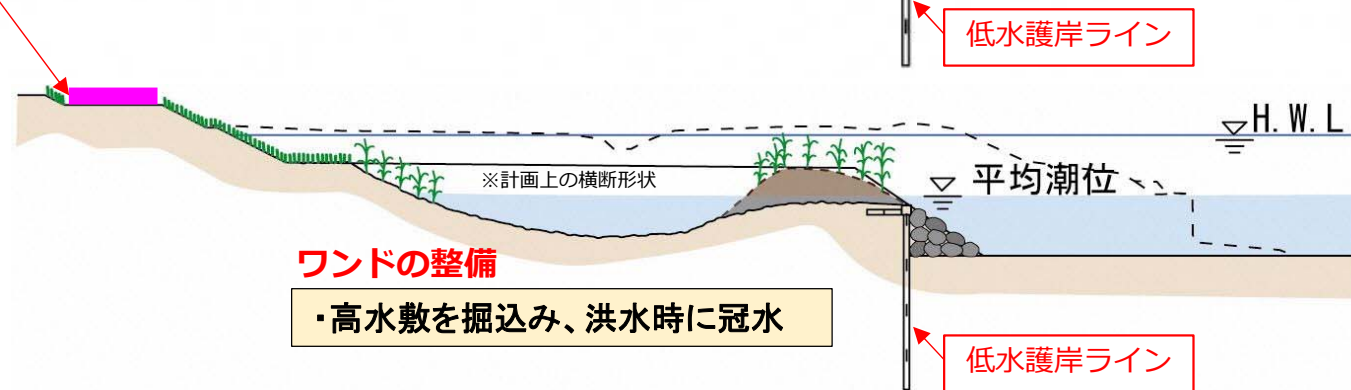
- ササゴイの池を再建するとともに、高水敷にワンドを整備
- 改変前の環境を再生することにより生物多様性を保全する区間



B-B断面



C-C断面



ゾーニング③ 生物多様性の保全区間

- ・竹林伐採 → ハンノキ等の移植
- ・ヨシの移植、キンヒバリの生息域の再建 など

※有識者の意見を聞きながら、
移植の必要性・移植方法を検討

